

福祉の向上どこへやら 満足度に今一步 成果を徹底チェック”

計画
↓
実施
↓
検証

見直しサイクルの実践をせまる

付帯意見をつけて多数決で認定

- (1) 滞納処理について、努力はしているが依然として滞納額が大きい。今後も更に工夫努力され、全滞納額削減を図られたい。
- (2) 合併は安定財政の確立と町民の福祉向上を期待し実施されたものだが、半年間の決算で感じる限り満足できる結果とはいえない。町民の気持ちを最重点に置いた行政実行を望む。
- (3) 監査審査の結果にある審査意見は十分考慮され、特に指摘された事項は決して繰り返すことのないよう執行されたい。
- (4) 決算審査の過程において指摘した事項については、十分留意し今後の行政執行に反映されたい。

●産業振興の事業効果

Q 多額の国庫補助を受け、産業振興が図られているが事業効果は

A 世羅菜園、常雇137人、パート等33人、将来は200人。日本農園の雇用は22人、将来35人体制。吉浦牧場は18人。施設建設は地元業者への経済的波及効果は大きい。

●まちづくり振興基金

Q まちづくり振興基金の借入利率等はどうか。

A 借入利率は1・1%。基金は15年間積み立て、1年定期で管理する。元利償還のピークはH20年度。この基金は地方交付税として70%が交付される。毎年の町負担額は15年間で4億7千万円余りとなる。



●工事落札率高い検討

Q 工事の落札額が予定価格の97・98%で落札することは競争入札の意味がないと思う。以前入札検討委員会の立ち上げで予定価格の80%半ばの数値が出ていた、まさに競争原理が働いた結果だ。本件について検討すべきだ。

A 今後は全体的に改革を進めていく。

●ゴミ収集委託

Q 可燃物収集業務で収集委託料を新しく決めることが研究されているが、今より安くすれば異論はないかどうか。

A 試算して、法に基づき現在の中味についても比較、充分検討し方向を出したい。

H16年度

期待された安定財政と 新町初の決算審議、 (H16年10月～H17年3月) “無駄、

● 消防退職金制度は

Q 消防団員退職金の内訳は。

A 消防団員31人、うち退職金支給者26人。5人は5年以内在職で支給しない。5年以上から支給する。

● 6次産業の取組は

Q 世羅高原6次産業の成果はどうか。

A 町内の6次産業関係に46団体と観光協会運営との連携により観光客誘致が年間延130万人の入りこみ客、その中でスタンプリナー39箇所呼び込みが効をなしたと考える。

● 決算全般の不納欠損

Q 内容は、不納欠損が多い内容は。

A 一般会計で執行停止(3年)43人、時効(5年)54人。全額422万円余り。

● 町営住宅家賃未納について

Q 住宅家賃その他の負担金が未納であるが理由は。

A 国営農地開発事業に法人の梨農園、長期的不況で経営不振となった。現在、競売中。また個人で1件は今年度中に分割完納の契約をしている。もう1件は30回分割納付となっているが財産調査をしている。また、個人1件は病気で収益が上がらず、分割納付をして

● 住宅資金等貸付事業の滞納は

Q H15年度から滞納がある、どう対応するか。

A 督促を実施している。

● 老人保健施設の増設

Q 介護老人保健施設が不足している、増設の考えはないか。

A 即、対応できる施設がないので、県へ特養施設の要望したが認めてもらえなかった。

● 水道利用は

Q 簡易水道施設のうち、利用のない世帯が見受けられる。有効利用とは思えないが。

A 簡易水道の料金は個別に出している。7つの施設毎の決算はしていない。トータルで経費を出している。水道加入しても井戸と併用したり、地域全体でも未加入者もおられる、今後事業効果を明確に求めて事業展開する。

● 先行取得のゆくえは

Q 土地開発基金の活用は。

A 山田川ダム建設の処分地を当時

● 公共下水道事業多額投入だが

Q 現在、管路埋設中で投資が大きい、処理施設が稼働すると維持費を公費で負担するのが大となる、考えを聞く。

A 意見も踏まえ担当課と協議したい。

● 決算全般の流用等が多い

Q 予備費充用、流用が多いが理由は何か。

A 合併という特殊事情で予算の見込違いで19件あった。

● 老人保健施設の増設

Q 介護老人保健施設が不足している、増設の考えはないか。

A 即、対応できる施設がないので、県へ特養施設の要望したが認めてもらえなかった。

● 住宅資金等貸付事業の滞納は

Q H15年度から滞納がある、どう対応するか。

A 督促を実施している。

● 老人保健施設の増設

Q 介護老人保健施設が不足している、増設の考えはないか。

A 即、対応できる施設がないので、県へ特養施設の要望したが認めてもらえなかった。

● 住宅資金等貸付事業の滞納は

Q H15年度から滞納がある、どう対応するか。

A 督促を実施している。

● 先行取得のゆくえは

Q 土地開発基金の活用は。

A 山田川ダム建設の処分地を当時

グループ 訪問

ものづくり “大豆栽培” に挑戦



大豆栽培の代表者 龍田政明さん

三営農組合共同で 栽培面積を拡大 将来は実需者ニーズの「サチユタカ」で

世羅の農業ビジョンで推し進めるものづくりの推進に、大豆栽培を団地化し、栽培面積を拡大する事で、効率化をねらい、取組んでいる三営農組合の大豆栽培の代表者龍田政明さんを訪ねました。

「変わった事はしていませんが、大豆は作柄が天候に左右され、生産量、品質が不安定で、作業効率低コストのためには、面積の拡大をはかるしかない。そこで三営農組合（龍陽、城新、陽上）共同で設立に動く、今はブロックローテーションで栽培、管理機械ビークルを導入することで、オペレーター組合を設立、低コ

ストをめざしている。品種は今は「アキシロメ」に統一、豆乳としては「サチユタカ」が適しているが今は種がない。一年でも早く、栽培面積（16ha）の種を取りよせ、実需者のニーズに応えてゆきたい」と大きな夢を抱かれて、土地利用型農業の推進に必死にとりかかって居られます。根っからの農業が大好きな龍田代表に世羅農業ビジョンへの大きな期待を寄せながらがんばれエールを送って取材を終えました。



産直市場「四季園にしおた」はりきる会員の皆さんと

人事

■選任同意

町長から選任同意が求められ同意いたしました。

◎人権擁護委員

H17年4月30日をもって梶迫得雄氏が辞任されたため、後任に落合 侑氏（西上原）が議会の同意を得て選任されました。

◎教育委員会委員

H17年11月17日をもって勝見成治氏が任期満了となるため、後任に後 高雄氏（川尻）が議会の同意を得て選任されました。

編集後記

コスモスの花も咲き、ようやく秋らしい季節となりました。さて、議会だよりもお陰をもちまして今回で第4号を発行することができました。手探りの中でスタートした議会だよりですが、皆さんのご意見に励まされながら無事にここまでくることができました。これからは更に研鑽をつんで読みやすく、分かりやすく



い、リアルな議会だよりづくりを目指して編集委員が丸となって頑張っています。皆さんのご意見、ご感想を心からお待ちいたしております。

（末盛）



議会広報調査 特別委員会

- ・委員長／小川信晃
- ・副委員長／仙光保喜
- ・委員／松本秀治・末盛守田坂進・松浦敬潤

議会を傍聴してみませんか

次回定例会は12月です

無線放送でお知らせします。



この広報は、環境にやさしい植物性大豆油インキで印刷しています。